

令和 5 年 7 月 10 日

長野県知事 阿部 守一 様

令和 5 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	清水口建設株式会社	
住所	〒390-1242 長野県松本市大字和田4705番地3	
代表者名	代表取締役 伊藤浩一	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
	リサイクルセンター	長野県松本市大字島内910番地
担当部署	総務部	
担当者名	伊藤翔	
連絡先	T E L	0263-47-7000
	F A X	0263-47-0753
	電子メールアドレス	s.ito@shimizuguchi.com
ホームページアドレス	https://www.shimizuguchi.com	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物の発生抑制の為、現場ごとに施工計画の段階で現場の状態、工事目的物を把握し、掘削や取壊し等が最小限になる様、施工方法を検討し、産業廃棄物の目標排出量を設定する。

施工途中、終了後に実施排出量を確認し、検証した結果を評価し、社内で情報共有した継続活動を行う。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	令和 5 年度 目標値	令和 4 年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 2 年度 実績値
総排出量の推移 ($t \cdot kg \cdot m^3$)	6,000	6,025	5,769	13,729
リサイクル量の推移 ($t \cdot kg \cdot m^3$)	5,800	5,880	5,493	12,943
売上高の推移 (円)	670,000,000	669,272,832	760,672,996	860,947,516

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

現場を事前に照査する中で、設計図書以外にもリサイクル製品を使用できないか検討し提案します。

また自社のリサイクルセンターに産業廃棄物を持ち込み、廃棄物ごとに処理量を把握し最終処分の確認を行います。

施工段階では鋼製型枠（メタルフォーム等）推進、木製型枠の転用と丁張り杭を再利用し、リユース率の向上を図ります。

電子マニフェストを活用し、ペーパーレスにも努めます。

さらに安全大会等にて、法令・安全遵守について周知徹底します。

エコアクション21を活用し廃棄物の減量及びエコ活動に取り組みます。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度目標値	令和4年度実績値	令和3年度実績値	令和2年度実績値
砕石	100	69.6	84.3	98.1
アスファルト混合物	100	27.5	100	22.4
全体	100	61.6	85.8	62.6